



# 平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
コード番号 3350 URL <http://www.redplanetjapan.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) ティモシー・ハンシング

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 王生 貴久

TEL 050-5835-0966

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	1,293	49.8	84		197		298	19.6
29年12月期第3四半期	863		38		154		371	

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 603百万円 (62.7%) 29年12月期第3四半期 371百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益	
	円	銭	円	銭
30年12月期第3四半期	1.00		0.95	
29年12月期第3四半期	1.38		1.21	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率 %
	百万円	百万円	百万円	百万円	
30年12月期第3四半期	14,162		5,024		34.8
29年12月期	12,195		4,236		30.7

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 4,921百万円 29年12月期 3,745百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
29年12月期		0.00		0.00	0.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

平成30年12月期の連結業績予想は、現在精査中であり、当該連結業績予想については、今後、取り纏まり次第速やかに開示いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)  
特定子会社には該当ませんが、Red Planet Hotels Manila Corporation を新規設立し、連結の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
以外の会計方針の変更：無  
会計上の見積りの変更：無  
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	307,570,337 株	29年12月期	270,970,337 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	50,100 株	29年12月期	50,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	298,229,395 株	29年12月期3Q	269,520,237 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは前連結会計年度よりホテル事業に特化し、更に事業基盤を拡大し、引き続き持続的な発展に取り組んでまいります。当社グループの事業拡大の一環として取組中であるフィリピンにおける2つのプロジェクト「レッドプラネット マニラ ザ フォート(仮称)」と「レッドプラネット マニラ エンターテインメントシティ(仮称)」は、順調に開発が進んでおり平成31年と平成32年に開業予定です。これにより、当社グループの客室数は倍以上に増加いたします。また、平成30年8月10日には、広島市にて日本で7棟目となるホテル用地の取得を決議し同日付で売買契約を締結いたしました。このホテル用地は平成32年4月に開業予定の当社グループの日本における7棟目のホテル用地となります。

「レッドプラネット名古屋錦」と「レッドプラネット札幌すすきの南」を開業したことにより、当第3四半期は、前年同期比77.3%の増収となりました。平均客室単価(ADR)はホテル全体で前年同期比3.3%増、浅草、五反田の販売可能客室単価(REVPAR)はそれぞれ3.6%増、0.4%増を記録し、東京でのホテル事業の好調さを証明しました。7月と8月の業績は、売上高及び営業利益が、前年同期比でそれぞれ89%増及び85.3%増と、当社グループ過去最高の単月営業利益を記録しました。

日本における当社グループ5棟目のホテルとなる「レッドプラネット札幌すすきの南」は、札幌が観光地として高いポテンシャルがあることを示し、開業から3ヶ月間平均87.5%の平均稼働率、11,587円の平均客室単価(ADR)を記録しましたが、その後発生した、9月6日のマグニチュード6.7を記録した北海道胆振東部地震が、ホテルの業績に大きな影響を与えました。「レッドプラネット名古屋錦」も、台風21号により関西国際空港が1週間近くの閉鎖を余儀なくされる被害を受け、一時的に業績が低下するまでは、毎月業績が改善する好調な状態でした。9月に発生したこれらの自然災害により、当第3四半期の収益は下方に推移する結果となりました。

当第3四半期はこれら2つの自然災害にもかかわらず、売上総利益は前年対比73%増加、当社グループのビジネスモデルが効率的であり事業規模の拡大が期待できることを証明しました。政府、提携旅行代理店、及び当社グループのスタッフの努力の結果、影響を受けた2つのホテルは急速に回復して年末までに正常なレベルの営業状態に復帰、また、日本のホテル事業全体としても順調な結果となることを確信しております。

このような環境の下、前述の当第3四半期に発生した災害の影響と事業拡大に伴う販管費の増加もあり、当第3四半期単独の3か月間の営業利益だけでは第2四半期までの累計期間の営業損失を賄うことはできず、当第3四半期累計期間の営業利益は損失となっております。当社グループは、この営業損失は一時的な要素に多く起因するものであると考へ、今後の事業基盤の拡大を通して将来の利益計上に努めてまいります。なお、前述のセールアンドリースバック取引により固定資産売却益1,219百万円を特別利益に計上しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,293百万円(前年同期比49.8%増)、営業損失84百万円(前年同期は営業利益38百万円)、経常損失197百万円(前年同期は経常利益154百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益298百万円(前年同期比19.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は14,162百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,967百万円増加いたしました。

流動資産は3,018百万円となり、前連結会計年度に比べて258百万円増加しております。これは主にその他の流動資産が268百万円増加したためであります。

固定資産は11,143百万円となり、前連結会計年度に比べて1,709百万円増加しております。これは主に、リース資産(純額)が5,108百万円増加した一方、信託建物及び信託構築物(純額)が2,337百万円減少したためであります。

負債合計は9,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,179百万円増加しております。これは主に、長期借入金5,811百万円減少した一方で、リース債務が4,964百万円増加したためであります。

純資産合計につきましては、5,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ787百万円増加しております。これは主に、資本金及び資本剰余金がそれぞれ439百万円増加、利益剰余金が298百万円増加した一方、非支配株主持分が375百万円減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、現在精査中であるため、記載しておりません。当該連結業績予想については、算定ができました時点で速やかに開示する予定です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,639,937	1,596,305
売掛金	95,201	126,303
商品及び製品	824	2,121
原材料及び貯蔵品	2,423	3,245
その他	1,022,008	1,290,445
流動資産合計	2,760,396	3,018,420
固定資産		
有形固定資産		
信託建物及び信託構築物(純額)	4,033,223	1,695,743
リース資産(純額)	-	5,108,525
その他(純額)	4,713,279	3,550,350
有形固定資産合計	8,746,503	10,354,619
無形固定資産		
のれん	3,603	-
その他	215,059	19,084
無形固定資産合計	218,662	19,084
投資その他の資産		
投資その他の資産	895,090	1,195,811
貸倒引当金	△425,569	△425,569
投資その他の資産合計	469,520	770,241
固定資産合計	9,434,687	11,143,945
資産合計	12,195,083	14,162,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	270,141	29,625
未払法人税等	5,738	135,001
その他	214,492	851,630
流動負債合計	490,372	1,016,256
固定負債		
長期借入金	7,467,205	1,655,725
退職給付に係る負債	1,111	3,261
リース債務	-	4,964,043
その他	-	1,498,939
固定負債合計	7,468,316	8,121,969
負債合計	7,958,688	9,138,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,176	482,562
資本剰余金	3,685,530	4,124,915
利益剰余金	154,805	453,294
自己株式	△138,041	△138,041
株主資本合計	3,745,470	4,922,729
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	-	△743
その他の包括利益累計額合計	-	△743
新株予約権	115,924	102,153
非支配株主持分	375,000	-
純資産合計	4,236,394	5,024,139
負債純資産合計	12,195,083	14,162,366

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	863,742	1,293,560
売上原価	147,022	255,954
売上総利益	716,719	1,037,606
販売費及び一般管理費	677,805	1,122,567
営業利益又は営業損失(△)	38,914	△84,960
営業外収益		
受取利息	7,927	9,039
貸倒引当金戻入額	186,136	-
受取保険金	394	2,213
その他	769	1,241
営業外収益合計	195,227	12,494
営業外費用		
支払利息	53,402	83,393
持分法による投資損失	25,197	-
為替差損	-	40,419
その他	799	1,369
営業外費用合計	79,399	125,182
経常利益又は経常損失(△)	154,742	△197,648
特別利益		
固定資産売却益	12	1,219,152
有価証券売却益	69,999	-
関係会社株式売却益	156,452	-
特別利益合計	226,464	1,219,152
特別損失		
固定資産売却損	5,154	-
固定資産除却損	-	76
違約金	-	178,309
和解金	3,633	37,000
繰上返済精算金	-	105,327
特別損失合計	8,787	320,712
税金等調整前四半期純利益	372,419	700,790
法人税、住民税及び事業税	1,349	96,169
法人税等合計	1,349	96,169
四半期純利益	371,070	604,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	306,132
親会社株主に帰属する四半期純利益	371,070	298,488



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	371,070	604,621
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	△743
その他の包括利益合計	-	△743
四半期包括利益	371,070	603,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371,070	297,745
非支配株主に係る四半期包括利益	-	306,132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ439,385千円増加しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が482,562千円、資本準備金が4,124,915千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。